

中学校 1～3年

技術・家庭科 (家庭分野)

考える 表す

話す・聞く 書く 読む

育成したい 国語力

自分の経験や知識と資料を結び付け、疑問点や課題点を読み取る。自分の考えを大切に、目的や場面に応じて的確に話したり聞いたりする。自分の生活について自分の考えをまとめ、的確に表現する。

題材名

「快適な住まい方 ～住まい方を工夫し改善しよう～」

題材の流れ

第1時

・住居平面図を用い、より快適に住まうために改善する箇所をグループごとに検討する。

第2～4時(本時)

・グループで担当した住空間について室内環境の条件(明るさ・温度・湿度・音)の構成や清掃の仕方など工夫し改善する方法を考え、まとめる。
・プレゼンテーションの準備をする。

第5時

・「快適な住まい」のプレゼンテーション(発表)をする。

事後・関連等

・まとめの掲示や配付
・他教科や総合的な学習の時間での活用

本時の目標

- ・具体的な改善方法を家庭実践に生かしていけるよう発表を工夫する。【生活を創意・工夫する能力】
- ・快適な住まいの条件を理解し、室内環境の改善の方法がわかる。【家庭生活についての知識・理解】

本時の流れ

導入

本時のめあてを確認(一斉)
「住まい方を工夫し、改善しよう！」

展開1

住まい方の考察(グループ)

- ・グループで担当した住空間をどのように工夫し、改善すればより快適に住まうことができるのか、住宅平面図を読み取り、メモに書き出し、話し合う。
- ・室内環境の条件(明るさ・温度・湿度・音)や整理整頓、清掃などの方法についても着目し、考えを深める。

展開2

住まい方の考察の深化(グループ)

- ・グループで出し合ったことを整理し、さらに深める。実際の生活に生かしていけるよう具体的な改善の方法について検討する。

発表原稿作成

- ・グループの発表原稿を作る。

まとめ

本時のまとめ(一斉)

- ・次時の発表方法や役割分担の確認をする。

国語力育成の視点

家庭科においては、生活上起こり得る問題点と関連させ、教科書や資料集に書かれた文章や図表を読み取ることを大切にします。その中で見出した課題を解決するために具体的に考えることが、これからの豊かな生活を送ることに結び付いていきます。

本時では、ひとつの課題に対して、個々に情報を整理し、それを基にグループで話し合い、解決策を吟味し「考える力」を育成します。また、グループごとにプレゼンテーションを行い、解決策を発表します。国語科の学習内容と関連付けて「表す力」を高めることが大切です。

各住空間の図等を用いて、その住空間で行われている生活行為と結び付け、具体的に考えを深めます。

視点①

考える力

住宅平面図を読み取る際には、つきやすい汚れの種類や原因等、日常生活の体験に基づき、具体的に考えます。個々に気付いたことをメモし、それに基づいてグループで話し合うことも大切です。

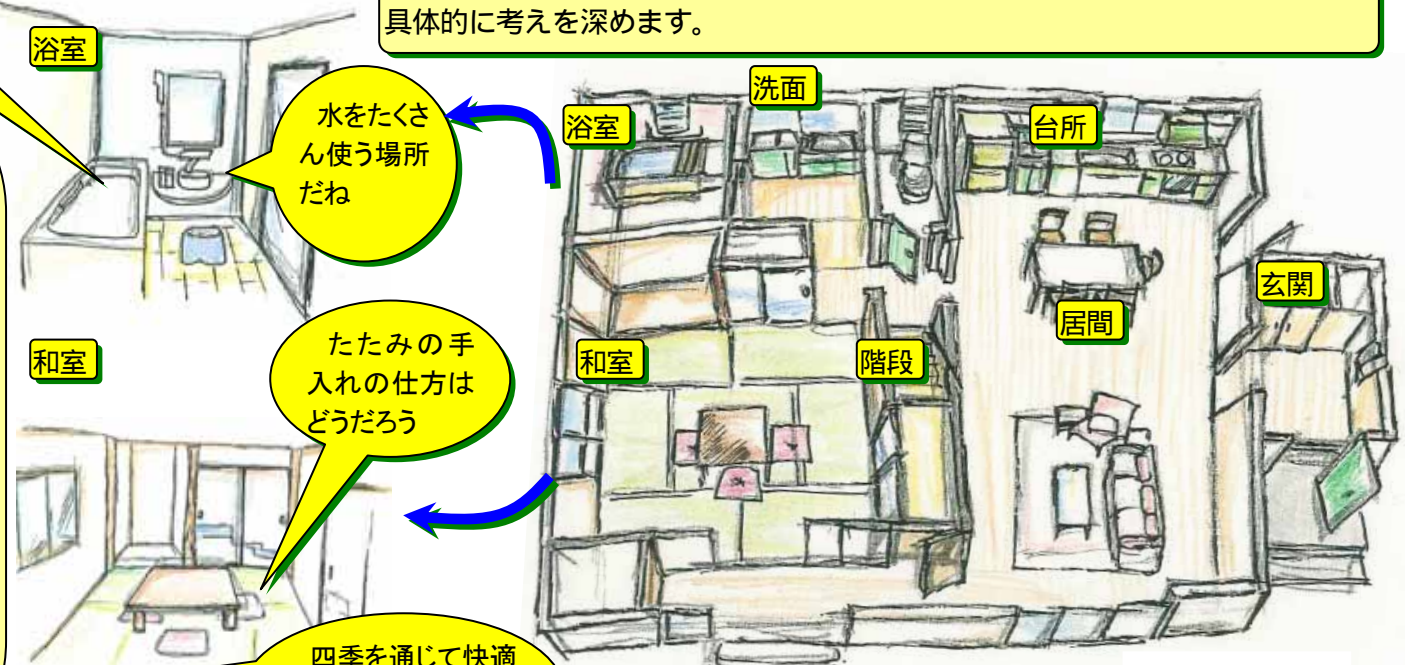
どんな汚れがたくさんつくかな

視点②

考える力・表す力

国語科の指導内容と関連付け、聞いている人の気持ちをつかむため、説明の順序や時間配分、役割分担なども考慮し、発表原稿を作成し「表す力」を育成します。また、分かりやすい資料の提示、住宅模型の使用や掃除方法の実演などを工夫することも大切です。

教材例



住宅平面図

低学年

中学年

高学年

中学前

中学後

音楽

美術
図画
工芸
技術

技術
家庭

保健
体育

活動
特別

道徳

総合的
な学習